

## 福祉サービス第三者評価結果報告書 【児童福祉分野（保育所）】

### 【受審施設・事業所情報】

|            |  |          |
|------------|--|----------|
| 事業所名称      | おひさま保育園  |          |
| 運営法人名称     | 社会福祉法人 あおば福祉会  |          |
| 福祉サービスの種別  | 保育所  |          |
| 代表者氏名      | 理事長 奥野 隆一 園長 増田 幸行   |          |
| 定員（利用人数）   | 90 名 （利用者92名）  |          |
| 事業所所在地     | 〒 561-0864<br>大阪府豊中市夕日丘1丁目13-15  |          |
| 電話番号       | 06 - 6856 - 1679   |          |
| FAX番号      | 06 - 6856 - 1689   |          |
| ホームページアドレス | <a href="http://www.ohisamakko.jp/">http://www.ohisamakko.jp/</a>        |          |
| 電子メールアドレス  | <a href="mailto:mra09857@nifty.com">mra09857@nifty.com</a>               |          |
| 事業開始年月日    | 1998年4月1日  |          |
| 職員・従業員数※   | 正規 17 名  | 非正規 13 名 |
| 専門職員※      | 保育士—19名<br>栄養士—4名<br>調理士—2名<br>看護師—1名                                    |          |
| 施設・設備の概要※  | [居室]   |          |
|            | [設備等]<br>保育室(0歳、1歳、2歳、3歳、4歳、5歳)床暖房完備・ホール・事務室・保健室・厨房・職員休憩及び更衣室、乳児用・幼児用プール |          |

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

### 【第三者評価の受審状況】

|         |         |
|---------|---------|
| 受審回数    | 2 回     |
| 前回の受審時期 | 2015 年度 |

### 【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

|                     |   |
|---------------------|---|
| 評価結果公表に関する事業所の同意の有無 | 有 |
|---------------------|---|

### 【理念・基本方針】

法人の理念に「平和とこどもの幸せを追求します」を掲げています。

園の基本方針には、

- ・誰もが、安心して子どもを産み、育て、働き続けられるように
- ・どの子ども、健康でたくましく、健やかに育つように
- ・保育者が、健康で生き生きと仕事に取り組めるように
- ・地域の子育て支援の砦になるように

を掲げ、保護者・子ども・保育者のそれぞれの立場を大切にして保育を行っています。

### 【施設・事業所の特徴的な取組】

- ① 健康な身体づくりを目標に『食べること』を大切にしています。給食・おやつ共に手作りで旬の食材を使用するよう努力しています。
- ② 『子どもを真ん中に大人たちも育ちあう』ことを目的に保護者会と共に行事に取り組んでいます
- ③ 地域の高齢者の方への配食サービス（お弁当の配達）や、卒園児のボランティアや放課後居場所づくりなど、子どもたちが多様な人と関わる機会や地域との関わりを大切にしています

### 【評価機関情報】

|           |  |
|-----------|--|
| 第三者評価機関名  | 一般財団法人大阪保育運動センター   |
| 大阪府認証番号   | 270042   |
| 評価実施期間    | 令和4年8月4日 ～ 令和5年2月25日   |
| 評価決定年月日   | 令和5年2月25日  |
| 評価調査者（役割） | 0701C046 （ 運営管理・専門職委員 ）<br>1001C011 （ 運営管理・専門職委員 ）<br>1401C054 （ その他 ）<br>（ ）<br>（ ） |

## 【総評】

### ◆評価機関総合コメント

| 「判断基準」の考え方 |  |
|------------|--|
| a          | よりよい福祉サービスの水準・状態<br>質の向上を目指す際に目安とする状態          |
| b          | 「a」に至らない状況、多くの施設・事業所の状態<br>「a」に向けた取り組みの余地がある状態 |
| c          | 「b」以上の取り組みとなることを期待する状態                         |

0401 号第 11 号「『福祉サービス第三者評価事業に関する指針について』の全部改正について」等より作成

おひさま保育園は、1998年に開園しました。開園から24年になり、園舎の老朽化に伴い施設修繕を行いました。子どもがより安全に生活できる環境づくりに取り組んでいます。

＜保育内容＞ 保育目標にも掲げている「食べることを大切にしています。給食、おやつともに手作りで、安全な旬の食材を使用するよう努力しています。0歳児からの描画活動を始め、発達がよく見えるような聞き取りの工夫をしています。5歳児が、4歳や3歳児をリードしながら3人組で行動し（リズム遊びの兄弟すずめ）、日常的に異年齢の活動が大切にしています。

＜保護者と共に＞ 4者協議会（園・保護者・おひさま保育園を育てる会・労働組合）による月1回の話し合いの場を持ち、お互いの立場から意見交換をすることが定着しています。調査当日に餅つき大会がありました。保護者が半日“先生”として行事に参加する姿がありました。日常保育にも参加があり、送迎時だけでは見られない子どもの様子を知る機会を設けています。保護者には日常的に対面で向き合う姿勢を大切にしています。

＜地域の中で＞ 子ども達がチームを作り、地域の高齢者に保育園の手づくり弁当を届けています。この取り組みは初代園長の時から19年間継続しています。地域の方からは、夏祭りには盆踊りを教えてもらったり、行事には手品の披露や、絵本の読み聞かせ、折り紙や工作を教えてもらったり、多様な関わりを通じて子ども達と園を支えてもらっています。

### ◆特に評価の高い点

職員集団が、常に「子どもにとって大切なこと」を学び・考え・話し合い、園長を中心にチームワークを高めながら意欲と喜びをもって保育実践に取り組んでいることが、ヒアリングと保育観察の中で感じられました。また、高齢者への配食サービスや保育行事に地域の方々に参加していただいて、日ごろから子どもを真ん中に、地域と保護者と保育園がつながって共に保育を創っています。

保護者からも「子どもの事を一番に考えてくれ、保護者の話をしっかり聞いて一緒に育児の事を考えてくれるので、安心して預ける事ができます」との声が多く、当評価室が行った保護者アンケートの回収率も高く、保護者から大きな信頼を得ていることが伺われます。

食べることをとても大切にされていて、安全で安心な無農薬野菜や地域栽培の食材にもこだわり、調理室を中心に栽培活動やクッキング活動等、園全体で子どもたちの心と身体を育てる保育が展開されています。保護者からも「食育に力を入れていて、（わが子が）食べられるものが増えて嬉しい」との評価が多くありました。

### ◆改善を求められる点

保護者アンケートでは、多数の自由記述の回答がありました。これは、保護者が保育園運営や保育内容に高い関心を持っていることを示しています。また、保育園が保護者と対面で対話することを大切にしておられること、行事への保護者の参加状況などから、保育園と保護者との強いつながりがあることがうかがえます。一方で、「もう少し意見が出しやすい工夫が必要」との保護者の声もありました。家庭や就労の状況が多様化する保護者に対して、さらに意見を汲み取る工夫を期待します。

また、衛生環境や感染症対策などに関して、保護者と職員と一緒に研修を受ける等、保育園全体で取り組んでいますが、現在の社会情勢や保護者からの要望を鑑み、紙おむつの取扱を含む衛生面環境について、看護師を中心として組織的な再検討を望みます。

### ◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

コロナ禍の影響で、子どもたちや保護者を取り巻く状況は大きく変化しました。また、法人の事業拡大や異動等に伴い、管理職や職員も交代し、新しい組織体制の中での受審となりました。このような状況下で、第三者評価受審という機会を通して、改めて自分たちの大切にしている日常の保育運営や行事のあり方について、職員間で確認し自己評価をしていきたいと考えていました。特に今年度は25周年という節目を迎え、これまでの歴史の中で積み上げてきた、「地域づくり」「保護者と共に」「食育」といった点で高い評価をいただき、私たちの確信になりました。また、職員集団の励みにもなりました。今回の評価において、気づかされたことや課題については、事業計画や中長期計画に具体化し、改善に努めながら、さらなる発展を目指していきたいと思えます。

### ◆第三者評価結果

・別紙「第三者評価結果」を参照

## 第三者評価結果

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

|                             |  | 評価結果 |
|-----------------------------|--|------|
| Ⅰ-1 理念・基本方針                 |  |      |
| Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 |  |      |
| Ⅰ-1-(1)-①                   | 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。  | a    |
| (コメント)                      | 法人・保育所の理念・基本方針は「法人会報」ホームページ・入園のしおり（重要事項説明書）に明記しています。誰もがいつでも目に届くように、玄関前にも掲示しています。職員には、職員ハンドブックや法人研修を通して周知しています。 |      |

|                             |  | 評価結果 |
|-----------------------------|--|------|
| Ⅰ-2 経営状況の把握                 |  |      |
| Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 |  |      |
| Ⅰ-2-(1)-①                   | 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。  | b    |
| (コメント)                      | 経営者研究会に参加して、社会の動向を把握し経営分析に努めています。豊中子育て・子育て支援計画「子どもすこやか育みプラン・とよなか」の内容把握、会議や研修にも参加し、事業経営につなげています。法人内で定期的に管理者会議を行い課題・分析に努めています。 |      |
| Ⅰ-2-(1)-②                   | 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。  | b    |
| (コメント)                      | 事業経営をとりまく環境及び経営状況の把握・分析をおこない事業報告をまとめています。その中で経営課題や改善点を明確にして次年度の事業計画や中長期計画に反映させ具体化しています。その過程において職員のより積極的な参画が望まれます。            |      |

|                                 |  | 評価結果 |
|---------------------------------|--|------|
| Ⅰ-3 事業計画の策定                     |  |      |
| Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 |  |      |
| Ⅰ-3-(1)-①                       | 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。  | b    |
| (コメント)                          | 「北支部中・長期計画」「おひさま・おひさまっこ保育園中・長期計画」にて、改善・解決に向けた具体的な計画づくりをおこない北支部管理職会議で議論しています。会計士を招いて中長期に向けた財務管理の学習も予定しています。 |      |
| Ⅰ-3-(1)-②                       | 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。   | b    |
| (コメント)                          | 2022年度事業計画は、法人の事業拡大に伴い理事会や北支部会議で議論し、法人の動向を含めた中・長期計画をもとに単年度計画を策定しています。また、計画的な人材育成をおこなっています。                 |      |

|                          |  |   |
|--------------------------|--|---|
| I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。 |  |   |
| I-3-(2)-①                | 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。  | b |
| (コメント)                   | 職員の意見が集約・反映できるように職員会議等の議論を大切に、事業報告・計画を策定しています。実施状況の見直しを職員参画のもと定期的に行える仕組みを作成することを期待します。 |   |
| I-3-(2)-②                | 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。  | b |
| (コメント)                   | 四者協議会（保育園・保護者会・育てる会・労働組合）で事業計画の内容を周知し、話し合った内容は、玄関前に掲示・保護者会の連絡ツールを通して周知しています。           |   |

|                                    |   | 評価結果 |
|------------------------------------|---|------|
| I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組        |   |      |
| I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 |   |      |
| I-4-(1)-①                          | 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。   | a    |
| (コメント)                             | 職員は、年三回（前期・中間・年度末）保育における自己評価をおこない、総括会議で集団討議を実施しています。定期的に第三者評価を受審し保育の質向上に向け取り組みを行なっています。               |      |
| I-4-(1)-②                          | 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。   | b    |
| (コメント)                             | 年度ごとの評価については、事業報告・次年度の事業計画や保育所の全体計画に反映しています。明らかになった課題については、職員研修を行い解決に努めています。職員間で課題の共有化が図れるよう工夫が望まれます。 |      |

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

|                          |  | 評価結果 |
|--------------------------|--|------|
| Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ       |  |      |
| Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。 |  |      |
| Ⅱ-1-(1)-①                | 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。   | a    |
| (コメント)                   | 管理者の職務は（職員ハンドブック）の業務分担表に明記しています。新年度会議において職員間で確認をおこない、園だよりや入園のしおりでも周知しています。有事における役割は、法人間で明確にし連絡ツールを確認しています。 |      |
| Ⅱ-1-(1)-②                | 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。   | b    |
| (コメント)                   | 管理者は積極的に保育運営にかかわる研修に参加し遵守する法令の理解に努めています。社会の動向や課題に対応できるよう、法人内でも様々な分野（弁護士・会計士・社労士）の学習を実施し取り組んでいます。           |      |

|                               |   |   |
|-------------------------------|---|---|
| II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 |   |   |
| II-1-(2)-①                    | 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。  | a |
| (コメント)                        | 管理者として「福祉サービスの質の向上」に向け積極的に参加しています。職員の学びの充実を図るため、職員のニーズを把握し研修計画を作成、定期的・継続的な園内研修を実施しています。                             |   |
| II-1-(2)-②                    | 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。  | b |
| (コメント)                        | 北支部管理職で担当（人事・労務・財務）を置き、定期的な分析及び研修を行い共有できるような組織作りに取り組んでいます。法人として理念や基本方針をもとに働きやすい職場づくり（人員配置・処遇）について、具体的に見直しと改善を図っています |   |

|  |             |
|--|-------------|
|  | <b>評価結果</b> |
|--|-------------|

|  |   |   |
|--|---|---|
| II-2 福祉人材の確保・育成                        |   |   |
| II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。 |   |   |
| II-2-(1)-①                             | 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。  | b |
| (コメント)                                 | 各種事業計画（中長期・北支部・園）において、人員体制や育成に関する具体的な計画を明示しています。採用時期や取り組み方を分析して人材確保に努めています。キャリアアップ計画を作成し実施しています。事務職や心理職の配置体制構築の実現に向けて取り組んでいます。実現を期待します。   |   |
| II-2-(1)-②                             | 総合的な人事管理が行われている。  | b |
| (コメント)                                 | 人材育成計画で、職務に対して「期待する職員像」を明確にし職員が役職に対して将来像が描けるようにしています。職員の自己評価や個人面談をおこなっています。就業規則に人事基準が定められており、職員に周知しています。                                  |   |
| II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。            |   |   |
| II-2-(2)-①                             | 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。  | a |
| (コメント)                                 | 法人で産業医と連携し、メンタルヘルスクエアの相談機関を設置しています。管理者が定期的に全職員と個人面談を実施してニーズに応じた働き方ができるよう配慮しています。ワークライフバランスに向けて、有給休暇取得率の向上や各種休暇・福利厚生の充実を図り、職員確保や定着に努めています。 |   |
| II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。        |   |   |
| II-2-(3)-①                             | 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。   | a |
| (コメント)                                 | 年度初めに、人材計画に示された内容をもとに、職員一人ひとりが目標を設定し、定期的実施している個人面談で到達の振り返りと今後の目標設定を確認しています。   |   |
| II-2-(3)-②                             | 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。   | a |
| (コメント)                                 | 北支部事業計画や園の事業計画において、教育・研修計画を策定しています。計画に基づいた研修（園内研修含む）を実施しています。定期的に見直し（事業報告）次年度の研修計画に反映させています。  |   |

|  |  |   |
|--|--|---|
| II-2-(3)-③                                   | 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。  | a |
| (コメント)                                       | 研修担当（副主任）が外部研修の情報提供し、職員が積極的に研修に参加できるように努めています。リモート研修にも参加できるように設備や環境を整えています。組織的に高め合う関係を大切に、園内の役割や委員会は経験者と若手を組み合わせるなど育成に向けて工夫をしています。 |   |
| II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。 |  |   |
| II-2-(4)-①                                   | 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。  | b |
| (コメント)                                       | 実習生受け入れマニュアルを整備し、大学や本人の意向に沿った実習内容を実施しています。実習担当者は、養成校の懇談会に参加し、学生のおかれている状況や課題について理解し実習生に関わり指導しています。                                  |   |

|  |             |
|--|-------------|
|  | <b>評価結果</b> |
|--|-------------|

|                                   |  |   |
|-----------------------------------|--|---|
| II-3 運営の透明性の確保                    |  |   |
| II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。 |  |   |
| II-3-(1)-①                        | 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。   | a |
| (コメント)                            | 事業報告・計画・財務諸表等は法人会報やホームページ・玄関前の閲覧書類で公開しています。第三者評価受審結果や苦情・相談の内容や対応は、保育園のホームページで公表しています。                  |   |
| II-3-(1)-②                        | 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。   | a |
| (コメント)                            | 財務管理は、会計士の助言や学習を通して、適正な経営・運営が図れるように努めています。北支部管理職で毎月資金収支を持ち寄り、多面的な意見交流を通してお互いの施設の透明性が図れるような取り組みを行っています。 |   |

|  |             |
|--|-------------|
|  | <b>評価結果</b> |
|--|-------------|

|                             |  |   |
|-----------------------------|--|---|
| II-4 地域との交流、地域貢献            |  |   |
| II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 |  |   |
| II-4-(1)-①                  | 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。   | a |
| (コメント)                      | 「地域に根ざした保育園づくり」を目指して、園のパンフレットやホームページに明示しています。園庭開放やリズム運動や給食試食会など子どもとの交流に取り組んでいます。行事への参加も受け入れ、その際に地域のニーズ把握や育児相談を行い必要に応じて地域における社会資源を活用できるよう情報提供に努めています。 |   |
| II-4-(1)-②                  | ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。  | b |
| (コメント)                      | ボランティア受け入れマニュアルを整備しています。夏期は卒園児ボランティアを受け入れています。文庫ボランティアの方が週1回幼児に読み聞かせを行っています。小中高の職場体験ボランティアも積極的に受け入れ教育機関とも連携を図っています。                                  |   |
| II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。  |  |   |
| II-4-(2)-①                  | 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。  | a |
| (コメント)                      | 地域のネットワーク会議に参加し、地域における状況やニーズを把握し他機関と協働・共有のための連携を図っています。社会資源の活用ができるように資料を整備し、情報提供や関係機関とのネットワークに努めています。  |   |

|  |  |
|--|--|
| II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。              |  |
| II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。     | a  |
| (コメント)                                     | 自治会や各種会議に参加し、地域の社会ニーズや課題の把握に努めています。社会福祉協議会と連携して「オレンジカフェ」、独居老人向けのお弁当配布拠点などの場所提供を行っています。スマイルサポーターが地域の相談に応じる体制を構築し、門前の掲示で周知、相談（電話相談）に対応しています。                                     |
| II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。 | a  |
| (コメント)                                     | 配食サービスを受けている近隣の方々に、お餅つきの日には5歳児が訪問して楽しく交流しています。高齢者歌声サークルへの場所提供は子どもたちとの世代間交流にもなっています。地域の方々も含めて子育て学習会を開催し、「地域の中で子育て力を」を合言葉に、育成・支援に向けた取り組みを行っています。防災対策に向けて自治会と連携を図り具体的な内容を検討しています。 |

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

|  |   | 評価結果 |
|--|---|------|
| Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス                             |   |      |
| Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。                  |   |      |
| Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。 | a   |      |
| (コメント)                                       | 職員の共通理解を深めるため、「子どもの人権と発達保障」をテーマにした法人研修に参加したり、園の新年度会議で「人権に配慮した保育」について議論し、子どもへの日々の声かけから振り返りを行ったりするなど、活発な取り組みが行われています。また、保護者を対象にした発達障がいの勉強会を開催し、保護者同士で共通の意識や理解を持てるような取り組みも行われています。   |      |
| Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。        | b   |      |
| (コメント)                                       | 毎年の新年度会議で子どものプライバシー保護について確認を行っています。2年前からは5歳児のプールの着替えを行うスペースを設け、自分の体を大切にすることを重視した保育を実施しています。重要事項説明書にプライバシー保護について記載し、保護者の同意を得ています。  |      |
| Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。  |   |      |
| Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。   | a   |      |
| (コメント)                                       | 随時、見学希望者を受け入れており、2022年度は60組を超える見学者が訪れています（2022年12月訪問調査時）。園長を中心に、副園長、主任、専門リーダーが、施設の案内や持ち物の説明、園の保育で大切にしていることを伝えていきます。保護者アンケートにも「見学時に丁寧に対応して下さい、この園に決めようと思いました」といったコメントが見られます。ホームページを閲覧して訪問する人も増えているため、園の情報をより更新しやすいように改訂することも検討しています。 |      |
| Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。     | a   |      |
| (コメント)                                       | 新入園説明会で、園の成り立ちや行事の様子、保護者会の活動などを、パワーポイントで視覚的な工夫も行いながら伝えていきます。子どもの年齢ごとに保護者をグループ分けして話す機会を設け、入園時から保護者間の連携づくりにも努めています。また、初めて保育園を利用する保護者には、入園後に行う個別面談や日々の送迎時に、持ち物や衣服についてわからない点はないかフォローしています。  |      |

|                                  |   |   |
|----------------------------------|---|---|
| Ⅲ-1-(2)-③                        | 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。   | b |
| (コメント)                           | 豊中市の指針に基づき、文書による申し送りは行っていませんが、必要に応じて電話で引継ぎを行っています。卒園児に対しては園の行事に招待するなど、卒園後もつながる仕組みが構築されています。夏休みに例年開催される5日間の「おひさまクラブ」には多くの卒園児が参加しています。また4名がスマイルサポーターの資格を有しており、在園児に限らず地域の子どもを持つ保護者を支える体制を取っています。   |   |
| Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。          |   |   |
| Ⅲ-1-(3)-①                        | 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。   | b |
| (コメント)                           | 乳児の場面記録を通じた保育の振り返り、幼児の話し合い活動など、日々の保育で子どもの気持ちを重視し、理解することに努めています。保護者とは四者協議会を定期的で開催し、情報共有や意見交換を行っています。話し合われた内容は議事録にまとめ、園の掲示板を通じて周知を図っています。22年度はコロナ禍での行事実施に関し、保護者からの意向を受けてコロナ前のような形での運動会を開催しました。年3回実施しているクラス懇談会は、保護者同士が子育ての喜びや悩みを共有する場としても活用され、日々の連絡ノートとあわせ、保護者の思いを聞く環境、関係が作られています。これまで培ってきたやり方に加え、更にいろいろな人からの意見を引き出すような仕組みを、保護者と共に作っていくことを期待します。 |   |
| Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 |   |   |
| Ⅲ-1-(4)-①                        | 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。  | b |
| (コメント)                           | 苦情解決の体制が整備され、苦情解決委員会を実施しています。苦情解決制度について掲示を行い、1階の1歳児の部屋と2階の踊り場に意見箱を設置していますが、やや分かりづらいため設置場所の変更や周知の工夫を求めます。苦情があった場合は公開することを法人で定めており、園のホームページで毎月の苦情受付件数について通知しています。意見や提案については個別に対応していますが、保護者アンケートで「苦情や意見があるかどうかわからない」との回答が複数見られるため、園でも現在検討されているように、保護者からの提案への対応を保護者全体で共有できるよう周知方法の見直しを望みます。   |   |
| Ⅲ-1-(4)-②                        | 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。  | b |
| (コメント)                           | 生活ノートのやり取りも含め、保護者からの相談に対しては、内容に応じてその場で話を聞いたり、別途時間を設けたりするなどして対応しています。事務所の奥のスペースや、近隣にある姉妹園のおひさまこ保育園の3階の部屋を使い、落ち着いた話を聞く環境を整えています。  |   |
| Ⅲ-1-(4)-③                        | 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。   | b |
| (コメント)                           | 新入園時の個人面談や、配慮が必要な子どもの家庭への家庭訪問を行い、保護者の意見を聞く機会を設けており、職員会議等で共有しています。年度末には対応マニュアルの総点検を行い、見直しの有無について職員全体で検討しています。生活ノートを通じて寄せられた行事後の意見や感想が職員間で共有されていますが、保護者の意見をより引き出すよう設問を工夫したアンケートの活用についても検討を望みます。   |   |

|   |           |  |   |
|---|-----------|--|---|
| Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。 |           |  |   |
| 38  | Ⅲ-1-(5)-① | 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。  | b |
|   | (コメント)    | 災害への意識を高めるため、21年度にリスクマネジメント委員会を発足し、部屋ごとの安全チェックリストによる毎月の確認を始め、組織的な活動を行っています。またインシデントやアクシデントに相当する事象は、職員会議で保育の見直しを行って再発防止につなげています。日々のヒヤリハットは職員間で回覧し、月ごとの件数をグラフ化して、けが等の発生状況の分析が進められています。複数年にわたりデータを集めて分析することで、真因の特定や効果的な対策につながることを期待されるため、今後も継続して取り組んでいくことを望みます。 |   |
|   | Ⅲ-1-(5)-② | 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。   | b |
|   | (コメント)    | 感染症マニュアルを整備し、新年度会議では実践を交えた処理の仕方を学ぶなど、職員全体で感染症予防や対応に関する情報や知識を更新しています。豊中市の保健所長を講師に招いて開催した新型コロナウイルス感染症の学習会では、保護者と職員が一緒に参加することで感染症対策への共通認識の形成に努めています。一方で、感染者が発生した場合の保護者への連絡について改善を望む声があがっており、周知方法の見直しが望まれます。   |   |
|   | Ⅲ-1-(5)-③ | 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。   | b |
|   | (コメント)    | 自治会と提携し、災害時に備えて食料や備品の備蓄の検討に着手しようとしています。日頃から自治会を始めとする地域との関係が構築されていますので、園だけではなく地域も含めた防災計画の策定を望みます。東日本大震災後には、保護者からの支援を受けて職員が陸前高田に出向き、ボランティアに参加すると共に、保育園の避難体制について聞き取りを行い、その経験を自園の体制整備に活かしています。   |   |

|  |             |
|--|-------------|
|  | <b>評価結果</b> |
|--|-------------|

|                                     |           |   |   |
|-------------------------------------|-----------|---|---|
| Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保                     |           |   |   |
| Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。 |           |   |   |
|                                     | Ⅲ-2-(1)-① | 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。   | b |
|                                     | (コメント)    | 各年齢の保育目標をもとに年間計画や月案、週案を作成し、またクラス会議や乳幼児会議で子どもの姿をもとに話し合い、職員全体で年齢に応じた標準的な保育の実践に努めています。多くの職員から「『子どもにとって』を皆が常に考え、職員間で話し日々の保育について相談し合っている」という言葉が聞かれ、標準的な保育の実践を目指す一方で、画一的な保育にならないよう、園として不断の努力に取り組んでいる様子がうかがえます。  |   |
|                                     | Ⅲ-2-(1)-② | 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。   | a |
|                                     | (コメント)    | 毎月の職員会議や年3回行われる総括会議の他、クラス会議や乳幼児会議など各種の会議体で振り返りを行い、次の保育目標に活かしています。近年では新型コロナウイルス感染症で子どもの活動が制限されてきたことによる、子どもの体の育ちや運動能力への影響が見られたため、職員が体育教材を学ぶ研修に参加して指導力をつけ、体を動かすことに特に力を入れた保育を行うなど、子どもの姿をもとに保育の実施の検証と見直しが行われています。また四者協議会などで保護者の意見を吸い上げ、園の行事に活かしています。 |   |

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

|  |   |
|--|---|
| Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。   | b |
| (コメント) クラス担任に加え管理職や他のクラスの職員も参加して、様々な視点から子どもの姿を出し合い、年間計画を作成しています。個別計画の策定には臨床心理士や研究者の助言も活かしています。保護者とも保育参加や懇談会を通じて子どもの姿を出し合い計画づくりに活かしています。支援の必要なケースでは、モニタリング報告書を作成し市の担当課と連携を取って対応しています。   |   |
| Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。   | a |
| (コメント) 子どもの姿を中心に据え、「子どもにとって」を考え、指導計画の見直しを行う丁寧なプロセスが構築されています。クラス担任だけでなく、総主任や副園長を中心に第三者からの意見も出し合いながら、計画の振り返りと見直しを行っています。また、テーマを決めて小集団でのグループ討論を行うことで、一人ひとりの職員から意見が出るよう工夫をしています。場面記録を用いて、子どもの気持ちに寄り添った振り返りを行うことで、指導計画の評価や見直しを行う視点を職員全体で育てています。 |   |

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

|   |   |
|---|---|
| Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。  | b |
| (コメント) 週案や個人記録など園の書式に、子どもの姿を細かく記録しており、職員間で共有できるよう整備しています。前日からの申し送り事項を含め、毎日の保育に関する情報がまとめられた「今日の動き」を、全職員が出勤時に確認しています。既に導入済みの登園管理のシステムに続き、法人内で段階的に導入されている、月案や子どもの情報などをまとめて管理できるシステムの構築を進めています。 |   |
| Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。  | b |
| (コメント) 全職員が個人情報の取扱いに関する誓約書を交わしており、新年度会議で記録の管理に関する規程を確認しています。USBを使用してのデータの持出しは禁止しており、パスワードの取扱いやログの管理を行い、不適切な利用が行われないよう対策がとられています。  |   |

## 児童福祉分野【保育所】の内容評価基準

|                                |   | 評価結果  |   |
|--------------------------------|---|---|---|
| A-1 保育内容                       |   |   |   |
| A-1-(1) 全体的な計画を作成している          |   |   |   |
| A-1-(1)-①                      | 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。   | a   |   |
| (コメント)                         | 児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法に示されている理念をふまえて作成されています。保育目標と照らし合わせながら、保護者の状況や地域の特性をふまえたものになっています。作成にあたり、園長・総主任・副主任・専門リーダーの5名で運営会議を構成し、職員個々の意見を反映させ作成しました。総括会議で確認したものを次年度に活かしています。                                   |   |   |
| A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 |   |   |   |
| A-1-(2)-①                      | 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。  | b   |   |
| (コメント)                         | 園舎の老朽化が進み、床暖房と給湯器、園庭のトイレの改修などを行いました。空気清浄器なども増設して、子ども達が清潔にまた安全に生活できる環境を整える取り組みがされています。子ども達がタイムアウトできる空間は図書室の奥や、丸テーブルを置いている場所が園の中にあります。園全体で場所の活用の仕方を共有化しています。清潔チェック票を作成していますが、感染症の有無に関わらず、日常的に記録しておく事を望みます。  |   |   |
| A-1-(2)-②                      | 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。   | b   |   |
| (コメント)                         | 子ども達をより理解するために、場面記録を活用して実践検討をしています。「子どもの人権と発達保障」をテーマに雇用形態の違う職員も含めて子どもの人権や、一人ひとりの子ども理解を深める取り組みをしています。  |   |   |
| A-1-(2)-③                      | 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。   | b   |   |
| (コメント)                         | 年齢や発達に応じて、歯みがき・お箸への移行の時期などを検討しています。3段のロッカーへの衣類の収納については、子ども達が自分で行えるようにしていますが、「汚物と他の衣類が時々混じって入っている」との意見が保護者アンケートに見られました。子どもの健康状況を保護者に伝えるためにも使用済みのおむつの持ち帰りをしていますが、感染症対策と衛生管理の観点から、使用済みおむつの持ち帰りを再検討することを望みます。 |   |   |
| A⑤                             | A-1-(2)-④   | 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。 | a |
| (コメント)                         | 季節や目的に応じて散歩コースを決定し、戸外に出かけたときは、地域の方への挨拶を心がけています。調査当日は餅つきがおこなわれ、毎月一回の配食サービスの手順で5歳児がグループを組み、つきたてのお餅を配っていただきました。地域の方はお餅を受け取る時、腰を屈め子どもの目線で話されているのが印象的でした。法人内での保育交流をしています。コロナの前は他法人の保育園とドッチボール交流もしていました。        |   |   |

|           |   |   |
|-----------|---|---|
| A-1-(2)-⑤ | 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。   | b |
| (コメント)    | <p>月齢に応じて、2つのグループに分け、緩やかな担当制を取り入れています。前回の第三者評価の後、部屋を仕切り午睡スペースを作りました。月齢の低い子ども達が静かに眠ることができます。0歳児は布おむつを推奨しています。（9人中4人が布おむつ）強制ではなく、保護者が選択できるようにしています。保護者アンケートに汚れのついた物が他のものと一緒に入っていたという意見もありました。汚物入れコーナーを設け清潔保持を望みます。</p>  |   |
| A-1-(2)-⑥ | 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。   | b |
| (コメント)    | <p>1歳児の部屋は陽当りも良く、調査当日は恒例の餅つき大会で、部屋の中から見学していました。子ども達の描いた絵が掲示されていましたが、2語文が出ている月齢の高い子や、言葉の出かかっている子どもの絵の聞き取りを色分けして記入しており、保護者が子どもの発達の道筋を理解しやすい配慮がありました。「今日の保育」を全員に配布し園の様子や家庭での過ごし方がお互いに見えるよう記入しています。汚れた衣類が分類されず入っていることがあるとの意見がありました。子どもが自分でしようとする気持ちを大切にしながら、最後に確認することを望みます。</p> |   |
| A-1-(2)-⑦ | 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。  | a |
| (コメント)    | <p>各年齢の発達の特徴を共有し、運動会や他の行事などにも活かしています。コロナの蔓延している時には、各年齢ごとに給食を食べていましたが、調査の週から2歳児もホールで給食を食べています。（時間差をつけて）おやつ時は兄弟すすめと位置づけ異年齢での活動も取り入れています。19年続いている配食サービスは5歳児がグループに分かれて月に1度お弁当を届けます。地域の方も子ども達の訪問と成長を喜ぶ姿が見られました。</p>  |   |
| A-1-(2)-⑧ | 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。  | a |
| (コメント)    | <p>配慮の必要な子どもには、個別支援計画を立てています。職員だけではなく保護者も参加し、「発達障がい」についての学習会をしています。障がいを持つ子どもの保護者が集える「教育カフェ」を研究者と共に在園児・卒園児の保護者とも繋がって行ける取り組みをしています。</p>   |   |
| A-1-(2)-⑨ | それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。   | b |
| (コメント)    | <p>19時までの利用者が今年は少なく、18時30分に干菓子の補食を提供しています。18時から延長保育料が発生するようになってから、利用者が減っています。長時間保育への引継ぎは「今日の動き」で確認しています。</p>  |   |
| A-1-(2)-⑩ | 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。   | a |
| (コメント)    | <p>就学に向けて、係活動や持ち物の管理など意識的な活動を取り入れています。運動会のリハーサルのための校庭利用や小学校の音楽リハーサルの見学で小学校を知る機会を作っています。地域の幼稚園・保育所・子ども園・小学校連絡会を通して、園児の引継ぎをしています。懇談会では就学前の不安などを出し合い、保護者同士のつながりを深めています。</p>  |   |

|  |   |
|--|---|
| A-1-(3) 健康管理   |   |
| A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。                             | b   |
| (コメント)   | 常勤の看護師を配置しています。事務所横に保健室を整備し、体調不良の子どもの保育をしています。「保健だより」を定期的に発行し、園児の様子や季節で発生しやすい感染症、予防について発信しています。新年度には「命を守る取り組み」としてSIDSについて学び共有しています。睡眠チェック表については担当者を決めて、より安全に午睡の状況を把握することを望みます。  |
| A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。                        | a   |
| (コメント)   | 検診を通して子ども達が自分の体や生命について意識できるよう、絵本などを活用しています。嘱託医や看護師と共に子ども達の細かい所も保護者とともに考える機会を設けています。(滑舌が気になる・内股・指吸など)  |
| A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 | a   |
| (コメント)   | 定期的に4者面談(保護者・担任・園長・給食室)を行い、アレルギーを持つ子どもの状況把握をしています。新年度の会義にはアレルギーやアナフィラキシーショックなど、確認する場を設け、職員間での周知徹底に努めています。   |
| A-1-(4) 食事   |   |
| A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。                         | a   |
| (コメント)   | 給食室は保育園の真ん中に位置し、出汁のにおいや配膳の時の様子を子ども達が身近に感じとることができます。発達段階に合わせて机の配置を変えてみたり、食器も陶器のもので扱い方にも気を配っています。畑ではピーマン、オクラ、ゴーヤを栽培し給食にも使っています。来夏に卒園児を招待しカレーパーティーをするために4歳児が玉ねぎを植え、半年先を見通しての活動を取り入れています。コロナの中で保護者対象の試食会ができていませんが、保育参加(クラスの半数参加)には一口味見をしてもらっています。                       |
| A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。                | a   |
| (コメント)   | 週に1回栄養士とクラス担任で離乳食会議を持ち、子どもの食べ方や離乳食の進み具合の確認をしています。調査当日も手指操作に見合っテスティック野菜が食卓に載っていました。給食室は安全な食材を美味しく子ども達に提供することで、無農薬のものや地域で栽培された食材にもこだわりがありました。子ども達が食への関心が持てるよう、栽培活動やクッキング活動調理実演もしています。当園の実践をまとめた書籍「おかわりちょうだい」「もっとおかわりちょうだい」も発行していて調理室を中心に園全体で子ども達の心と身体を育てる保育が展開されています。 |
| <b>評価結果</b>  |   |
| A-2 子育て支援  |   |
| A-2-(1) 家庭との緊密な連携  |   |
| A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。                  | a   |
| (コメント)   | 懇談会や参観以外に、保育参加できる日を設け、餅つき大会当日にも数名の参加があり、保育士と共に行事に参加していました。参観や懇談会では、パワーポイントを活用しながら、子どもやクラスの様子、園での生活で大切にしていることを伝える場にもなっています。懇談会など欠席した保護者には、レジュメと共に園が伝えたいことや、保護者の感想をまとめたものを配布しています。  |

|  |   |
|--|---|
| A-2-(2) 保護者等の支援  |   |
| A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。                   | a   |
| (コメント)   | スマイルサポーターの資格を持っている職員が3名います。バザーができていた時期には子育て相談コーナーを設け、入所相談や一時預かり、育児の悩みなど多岐に渡り相談活動をしています。「子育て講演会」や「教育カフェ」などの取り組みを通して、保護者との関係性を深め、保護者が相談しやすい体制を整えています。 |
| A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | a   |
| (コメント)   | モニタリング対象児は、登園時の視診には特に配慮し、少しの変化も記録しています。送迎時のコミュニケーションや家庭訪問を通して、情報や変化を職員間で共有しています。市のこども相談課につながる体制を整えています。   |

|   |   |
|---|---|
| <b>評価結果</b>   |   |
| A-3 保育の質の向上   |   |
| A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）                                |   |
| A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | a   |
| (コメント)  | 職員の自己評価は年に3回行い、実践の振り返りをするとともに、それに伴って個別面談（管理職複数）は9月と2月に行っています。管理職の評価も法人が組織的にしています。 |

|   |   |
|---|---|
| <b>評価結果</b>                                       |   |
| A-4 子どもの発達・生活援助                                   |   |
| A-4-(1) 子どもの発達・生活援助                               |   |
| A-4-(1)-① 体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。 | a   |
| (コメント)  | 就業規則に明記しています。新年度の会義には職員間で共有する機会を持っています。お互いに保育が見えやすいように配慮し、意見の交流を図っています。 |

## 利用者(保護者)への聞き取り等の結果

### 調査の概要

|        |   |
|--------|---|
| 調査対象者  | 保護者   |
| 調査対象者数 | 世帯数 72世帯中 67人が回答  |
| 調査方法   | 当評価機関が作成したアンケート用紙を保育園から配布して、当評価機関の返信用封筒で直接当評価機関へ郵送して頂く。 |

### 利用者への聞き取り等の結果（概要）

利用者72世帯のうち67世帯から回答があり、93%の高い回収率でした。また、回答総数中7割を超える保護者から、自由記述欄を含め各設問に対して非常に多くのコメントが寄せられ、保育の内容や保育園の運営に日頃から高い関心を持ち、保育園と関わりを持っていることがうかがわれます。

自由記述には、「子どものことを1番に考え、それに伴い保護者の話をしっかりと聞き入れて一緒に育児のことを考えてくれる」「子どもたちのことを肯定的に受け止めて、あたたかく見守り関わってくれる先生たちが多くいることに感謝している」「子どものやりたいことを子供目線で企画していただいている」「先生と子どもたちの距離が近く、また年齢関係なく子ども同士の接点が多いため、とても良い環境」など、園の保育に賛同する声や、おひさま保育園でよかったという声がたくさんあがっています。

保護者と共に保育を作り上げていく園の取り組みは「懇談会や保育参観など、保護者が保育に参加する機会がありますか」の設問に対し全員が肯定的回答をしていることにも表れています。保護者会の有無、保護者同士の交流やつながりをたずねる設問も肯定的回答が95%以上で、「保護者も一緒になって園生活に参加できているように感じれる風土がとても良い」「保護者同士も交流できる場を設けていただき、子育てしやすい環境を作っている園だと思います」といった記述がありました。

また、給食についてたずねた「献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容がわかるようになっていませんか」「給食のメニューは充実していますか」の設問では肯定的回答が99%で、開園当初から「保育における食」を大切にしてきた園の取り組みがアンケート結果からも見て取れます。乳幼児が口にするものなので食材には妥協しない、食べることを楽しめるよう見た目の彩りを大切にする、という給食室の日々の取り組みが保護者にも伝わっていることがわかります。園のホール付近には給食とおやつサンプルと共に、その日の給食時の子どもたちの発言や様子を記載した「給食日誌」が掲示されていますが、保護者アンケートにも「毎日こまかく記載され

「いく女心しくま9」このコメントが寄せられていました。

一方で、「園内で感染症が発生した際には、その状況について必要に応じて連絡がありましたか」の設問への肯定的回答は76%で、感染状況についての掲示や知らせがないといった声があがっていました。「保育の内容などに関して、園から保護者に知らせてほしい情報」をたずねる設問でも、園内で感染症が流行した際の速やかな情報共有、書面での発信を求める意見が複数ありました。保護者の安心につながる、感染症・衛生管理面での日々の情報発信の更なる検討を望みます。

園から保護者に対する発信、共有を問う「保育園の理念や方針について、園から説明がありましたか」「入園後も保育園やクラスの様子などについて、『園だより』や『クラスだより』などを通じて、わかりやすく伝えられていますか」の設問では98%が肯定的回答である一方で、「保護者からの苦情や意見に対して、園から『懇談会』や『園だより』などを通じて説明がありましたか」といった設問では、「苦情や意見があるかどうかわからない」という声も含め、「苦情や意見の内容や対応が見えない」「全体に公表／発表されることがない」といった記述が見られます。苦情件数はホームページで公表されていますが、保護者から寄せられた意見に対する園の取り組みについては、保護者との共有方法に検討の余地が見られます。四者協議会や懇談会、日々の送り迎えでの対話、連絡ノートなど、様々な方法で園と保護者が意見交換を行っていますが、保護者との関係を丁寧に育んでいる園であるからこそ、より多様な保護者の声を拾い保育に活かせるよう、更なる工夫を期待します。



